Title	大爺栄一教授略歴
Citation	北海道大學 經濟學研究, 30(1), 361-362
Issue Date	1980-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/31496
Туре	bulletin (article)
File Information	30(1)_P361-362.pdf



## 大爺栄一教授略歴

大正 5 年 5 月 北海道札幌市において出生。生家は札幌農学校の寄宿舎を移 築した建物である。

昭和8年3月 北海道庁立札幌第一中学校第4学年修了。

昭和8年4月 北海道帝国大学予科農類入学。

鈴木限三, ヘルマン・ヘッカー, 結城謙治, 西村稔などの諸 先生に教えをうける。

病気のため1年留年する。

昭和12年4月 北海道帝国大学農学部農業経済学科に進む。同級生13名。

昭和15年3月 同学科を卒業する。

昭和15年5月 北海道帝国大学農学部副手に採用される。 以後上原轍三郎(植民学),渡辺侃 (農業経営学) 両教授に 師事する。

昭和19年6月 同学部助手となる。

昭和22年8月 同学部助教授となる。経済学説史, 農業地理学の講義を担当 する。

昭和26年7月 第2回ガリオア資金留学生に選ばれ、1年間アメリカ合衆国 に留学。 ウィスコンシン大学大学院において Glenn Trewartha, Clarence Olmstead 教授などに指導をうける。

昭和29年1月 前年独立した経済学部に渡辺教授と共に移籍する。 以後経済地理学,経営立地論,経営学第2部などの講義を担 当する。

昭和36年7月 北海道大学教授(経済学部)に昇任する。

昭和37年3月 経済学博士の学位を授与される(北海道大学)。

362 (362)

昭和37年4月 ドイツ連邦共和国その他の諸国へ出張。(6ヵ月)

以前から研究上で親交のあったミュンスター大学(後にルール大学)教授 Peter Schöller 博士の配慮と 援助をうける。その後昭和42年,46年にも同国を中心とする諸国に出張し,経済地理学,都市地理学に関する研究を行なう。

昭和49年4月 ~51年3月 昭和52年8月

~同年12月

北海道大学経済学部長事務取扱に任ぜられる。